

都市再生整備計画(第7回変更)

よいた
与板地区

新潟県 ながおか
長岡市

平成23年6月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	与板地区	面積	740 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

まちなか資源活用による地域住民が楽しく安心して暮らすことができる中心市街地の再生
 鉄道廃線敷を活かして地域住民等の健康増進を目指したまちなか散策ネットワークづくり
 地域防災に役立つ基盤整備による災害に強いまちづくり
 地域資源などの活用による魅力と賑わいのある商店街としての活性化
 NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源や地域住民の地域力を活かした来訪者へのもてなし

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
 当該地区は、平成18年1月1日に旧与板町、旧和島村、旧寺泊町、旧栃尾市、旧長岡市との合併によって誕生した**新長岡市の北部、旧与板町の中心市街地**に位置している。国道403号に沿って**带状に長く商店街が形成され**、古くから**旧三島郡の中心地、伝統工芸品「越後与板打物」の産地**として栄えてきた地区であり、地区内及びその周辺には城跡をはじめ、240年余りの歴史を誇る「登り屋台」など**歴史的な資源が多数残されている**とともに、市街地周辺部には「うまみち森林公園」「与板河川緑地」など、**身近な自然と親しむことのできる場所が整備**されている。
市街地内を南北に走る越後交通寺泊線は大正4年10月に開業後、昭和35年10月に栃尾電鉄と合併し越後交通となり運営されていたが、モータリゼーションの進展等により、**昭和50年4月に運転を停止**している。その後、20年もの長期にわたり各所にレールを残したまま将来の復帰に備えていたが、再開の目途がたたず、**平成7年3月に正式廃止**に至っている。現在、中心市街地を通過する廃線敷は部分的に契約駐車場として利用されている場所もあるが、大半が手つかずのままであり、**市街地振興における貴重な種地**としての位置づけはあるものの、具体的な活用・整備計画に至らない状況にあった。
 しかしながら、平成16年度より、市町村合併を見据えた廃線敷有効活用の気運が盛り上がり、3回のワークショップ開催など**住民参加型のまちづくり**を進めていく中で、跡地利用の方向性を見出している。市街地内には幅員が狭隘な道路に面する**密集住宅地が存在し、防災や救急活動に支障**をきたしているほか、子どもや老人が憩える**身近な公園や広場が少なく、周辺部の比較的規模の大きな公園緑地などとの連携が不十分**な状況にある。
 また、国道403号沿いに形成されている中心商店街は、近年**空き店舗が目立って**きており、店舗の老朽化、担い手の不足と相俟って、**賑わいと魅力が低下**している。
平成21年放送予定のNHK大河ドラマが、与板城主の戦国武将「直江兼続」を主人公にして放送されることが決定したため、これを契機に、ゆかりの歴史資源や観光案内、地域住民によるもてなしを充実することにより、まちづくりの目標を達成する起爆剤となることが期待される。

課題

越後交通廃線敷の有効利用
 住民意向調査において、廃線敷の有効活用を望む声が8割強を占めており、また、市街地内には、身近な公園や広場が少なく、子どもや高齢者の憩いの場が不足していることから、越後交通廃線敷を有効利用して、憩いの場やレクリエーションの場など地域住民が利用できる空間整備が必要である。また、回遊性を高めるために、商店街や河川緑地公園からのネットワークづくりが必要である。
 災害に強いまちなかの**基盤整備**
 当該区域内には、住宅が密集し、なおかつ狭隘な道路が多いため、火災、震災、水害などに対する防災性の向上が必要である。また、寺社仏閣などの史跡が点在しているが、個々の史跡の魅力を向上させるとともに、これらを活かした回遊ルート整備が必要である。
 商店街の活性化
 国道403号沿いの商店街には、空き店舗が多く、老朽化も進んでいるため、賑わいと魅力が低下しており、人の集まる場所の整備や観光資源の案内、ソフト施策の充実など、創意・工夫による賑わい創出が必要である。
 地域力で来訪者へのもてなし
 NHK大河ドラマが、与板城主の戦国武将「直江兼続」を主人公にして放送されることが決定したため、これを契機に全国から観光や視察のために来られる来訪者の期待にそうよう、ゆかりの歴史資源や観光案内、地域住民の心づかいを充実することにより、地域上げてのもてなしが必要である。これにより地域住民が元気になる、地域もいきいきする地域力の高まりが必要である。

将来ビジョン(中長期)

【長岡地域新市将来構想】
 本構想では、与板地域の整備方針として、“特有の地域資源を活用した独創と起業を進める地域の形成”“地域づくりのよりどころとなる「歴史と田園が織りなすふるさと」の形成”“積極的な交流で、常に育ちつづける地域と人づくり”“豊富な歴史文化や人柄が創る、まごころのもてなし発信地域”が掲げられている。
 【長岡地域新市建設計画】
 本計画では、与板地域に関するリーディングプロジェクトの中で、景観街並み形成保全促進事業として“歴史・文化の街歩きルートの形成と、地域による演出・手入れ・もてなしの仕組みをつくる(与板地域で先行的に取り組む)”と掲げられている。
 【旧与板町総合計画・後期基本計画】
 本計画では、道路網の整備の中で、“越後交通鉄道廃線敷を活用した広域自転車道の整備を促進する”と掲げられている。
 【旧与板町都市計画マスタープラン】
 本計画では、補助幹線道路整備方針の中で、自転車道の整備として、“安全性、快適性に配慮して、舗装や照明灯などを整備する”“観光客に対応するため、町並みや自然を紹介する案内板等を充実させ、また、かつての駅跡を利用して休息の場を整備する”と掲げられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
まちなか通行者数	人/12h	中心商店街を通行する平日12時間の歩行者及び自転車数	まちなか散策ネットワークづくりによって、歩行者及び自転車によるまちなか回遊機会を増大させる。	1,163	1,350 H23
防災訓練参加者数	人/年	与板地域における防災訓練の年間参加者数	災害に強いまちづくり基盤整備と住民意識向上活動により、地域防災訓練への参加者数を増加させる。	200	400 H23
中心商店街営業店舗数	件	中心商店街(国道403号沿いのアーケード区間)における営業店舗数	まちなかの商店街を活性化し、営業店舗数の減少をくいとめる。	78	78 H23
主要施設の来訪者数	人/年	楽山苑と歴史民俗資料館の利用者及び入場者数	NHK大河ドラマ「直江兼続」ゆかりの歴史資源を活用し地域住民でもてなす心づかいで来訪者を増加させる。	7,620	9,900 H23

与板地区(新潟県長岡市) 整備方針概要図 (第7回変更)

目標	まちなか資源活用による 地域住民が楽しく安心して暮らすことができる中心市街地の再生	代表的な 指標	まちなか通行者数 (人/12h)	1,163	(H18年度)	1,350	(H23年度)
			防災訓練参加者数 (人/年)	200	(H18年度)	400	(H23年度)
			中心商店街営業店舗数 (件)	78	(H18年度)	78	(H23年度)
			主要施設の来訪者数 (人/年)	7,620	(H18年度)	9,900	(H23年度)

